

関東地整におけるテーマ設定型（技術公募）の取組について

企画部 施工企画課 永岡 勝典

1. 新技術情報提供システム（NETIS）のテーマ設定型（技術公募）とは

国土交通省では、公共工事等における新技術の積極的な活用を推進するため、平成13年度からNETIS（新技術情報提供システム）を運用している。

NETISには特定の工種・工法において複数の新技術が登録（R2.1現在、約2,900技術）されているが、有用な新技術であっても、特徴や長所・短所、現場への適用条件等が異なる技術の中から、現場に適した新技術の選択が難しい等の課題を抱えている。

これを解決するための取り組みとして、平成26年度から「テーマ設定型（技術公募）」を開始した。これは直轄工事等の現場ニーズに基づく技術テーマに対して新技術を公募し、同一条件下で現場実証試験を行い、個々の新技術の特徴や現場への適応条件等を明確にした資料（以下「諸元表」という。）を作成することで、新技術を選択し易くすることにより、新技術の活用を促進する取り組みである。

現在（R2.1.17時点）、14技術テーマについて、諸元表をNETISサイトにおいて公表しており、そのうち4技術については関東地整で作成したものである。



図-1 NETIS ホームページ TOP テーマ設定型のリンク箇所（赤枠）

2. テーマ設定型（技術公募）の実施内容

2. 1 緒元表の作成

テーマ設定型（技術公募）では、地整等が第三者機関への委託を行い、技術の公募や現場実証等を行いながら諸元表を作成するものであるが、関東地整では前例が無く、試行錯誤を繰り返しながら、下記3技術テーマの諸元表の作成を行った。

- ① 道路附属物の支柱路面境界部以下の変状を非破壊で検出できる技術
- ② 自動識別が可能なカメラ撮影・解析技術（夏冬タイヤ判別等）
- ③ 道路附属物の基礎を簡易に設置する工法

